

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

造血幹細胞移植後における骨髄環境の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2003年1月から2020年3月までに当院血液内科において造血幹細胞移植を施行された方

2. 研究目的・方法

造血幹細胞移植は様々な造血器腫瘍で用いられる有用な治療法です。移植後の重篤な合併症のうち生着不全があります。その生着不全の一因として移植後の血球貪食症候群が挙げられます。そこで2003-2020年に昭和大学病院で造血幹細胞移植を受けた患者約100名の生着時の骨髄検査より血球貪食の有無を確認し、臨床および検査所見から移植後の血球貪食症候群を後方視的に解析します。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は学術研究であり、昭和大学病院医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後病院長の実施許可を得てから、昭和大学病院に通院または入院中の患者データを利用します。患者データは病院内の診療録管理室にて患者の性、年齢、疾患、病型、治療歴、生存状況、生死最終確認日、血算、生化学、骨髄検査などの情報を取得します。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学医学部内科学講座血液内科部門 氏名：服部 憲路

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8338

研究責任者：服部 憲路